

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学6							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
柔道整復学科・昼間部	3年	3期	伊藤 恵里			○	
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	臨床柔道整復学		座学	1	10		
科目概要							
柔道整復師が取り扱う外傷と整形外科的疾患の鑑別診断ができるよう理解を深める。臨床現場でも重要な知識であり、今までに習った知識を整理していく。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道整復師が取り扱う損傷や障害を多様な視点から捉えられる為に、そこに係わる運動器疾患についての知識を習得すると共に、臨床において類似疾患や鑑別疾患に対して説明できる態度を身に付ける。						
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動器疾患について理解し説明する事ができる。 2. 各運動器疾患に係わる類似・鑑別疾患について理解し説明する事ができる。 3. 上記上記疾患を比較検討できる 						
履修に必要な予備知識や技能							
関連科目の理解と運動器系の解剖学的構造、生理的機能の把握が必要であるため、自己学習を怠らないこと。							
教科書・参考書							
参考書:『整形外科学』『柔道整復学・理論編』							
受講上の注意							
今まで学んできた知識の集大成となる科目の1つであり、将来の活躍に活かすためにも予習・復習を心がけ臨んでいただきたい。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	感染性疾患と類似疾患の鑑別診断				参考書・筆記用具		
第2回	骨腫瘍疾患と類似疾患の鑑別疾患				参考書・筆記用具		
第3回	軟部腫瘍疾患と類似疾患の鑑別診断				参考書・筆記用具		
第4回	非感染性軟部・骨疾患と類似疾患の鑑別診断				参考書・筆記用具		
第5回	先天性骨系統疾患と類似疾患の鑑別診断				参考書・筆記用具		
第6回	汎発性骨疾患と類似疾患の鑑別診断				参考書・筆記用具		
第7回	全身性神経・筋疾患と類似疾患の鑑別診断				参考書・筆記用具		
第8回	末梢神経系疾患と類似疾患の鑑別診断				参考書・筆記用具		
第9回	まとめ				参考書・筆記用具		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として、接骨院勤務、整形外科勤務、スポーツトレーナーを経験。研修会や接骨医学会に所属。							
メールアドレス							
e.ito@nihonisen.ac.jp							